

令和3年度 第4学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題 (思・判・表または、態)	重点をおく単元、 カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な方策 ※課：課題 発：発問・指示・板書 教：教材の工夫 他：その他
国語	(思・判・表) ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて、要約することができていない児童が多い。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができない児童がいる。	・「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」 ・総合「日本の伝統や文化」「共に生きる」	教・文章の組み立てを捉え、中心となる語や文をたしかめることができる教材を提示する。 他・調べたことを基に、自分の考えとその理由や例が伝わる文章を書く学習活動を設定する。 他・学習課題を立て、見通しをもち、振り返る学習活動を設定し、学びの過程を自覚できるようにする。
社会	(態) ・当事者意識をもって課題を発見することができない児童が6割程度いる。 ・自分の学習状況を詳しく把握できていない児童が6割程度いる。	・「自然災害から人々を守る仕事」 ・総合「防災学習」	教・当事者意識をもって課題を発見できるように、児童にとって身近で切実感がある資料を提示する。また、教科横断的な視点でカリキュラムデザインを作成し、体験的な学習を設定する。 他・「つかむ」「調べる」「まとめる」の各学習過程の中で、1回以上振り返る学習活動を設定する。
算数	(思・判・表) ・1学期のワークテストでは、ほとんどの単元で平均90%以上であった。しかし、自分の考えを図などに表し、分かりやすく説明することができる児童は4割程度にとどまる。	・「分数」 ・「面積のはかり方と表し方」	課・課題提示の際は、デジタル教材や具体物・半具体物を利用して、視覚的・感覚的に問題をイメージできるようにする。 発・ペア等で互いの考えを説明する機会を多くつくり、自分の考えを表現できるようにする。その際、図や既習事項を活用しながら説明できるようにする。
理科	(態) ・見通しをもち、主体的に実験・観察の学習を進めることができる児童が7・8割程度いる。 ・日常、目にしている自然現象に意識が向いていない児童が5割程度いる。	・「とじこめた空気や水」 ・「水のすがたの変化」	発：「日常生活の中で水の姿が変化するのはどんな時ですか」など発問を工夫する。 他：振り返りの場を設定し学習内容と実際に見られる自然現象がどのようにつながっているのかについて考えるようにする。
音楽	思・判・表 ・音楽を聴いて気付いたことや感じたことを、適切な音楽用語を用いて説明することに課題がある。	・「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」	課・学習課題が明確になるように〔共通事項〕を絞った学習内容にする。 発・〔共通事項〕と音楽用語を適切に使って友達と学習することができるよう、教師が発問で使用する言葉を精選する。
図工	思・判・表 ・色や形のバランスをじっくりと考え、自分なりの発想をすることに課題がある児童がいる。	・「ぼうけん！ゆめの島」	教・分かりやすい例示などから、自分のやりたいことを選択したり、参考にしたりして発想できるようにする。 発・自分が冒険したい島を空想してどのように表すか考えることができるように発問を工夫する。

令和3年度 第4学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

<p>体 育</p>	<p>(態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことに意欲があり、走・表現の運動領域では、向上心をもって取り組む姿がみられた。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す運動技能の獲得に対して、自分の課題を明確にもてていない児童が6割程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「跳び箱運動」</li> <li>・「高跳び」</li> </ul>	<p>課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体感覚を具体的な言葉で振り返りに書くように促す。</li> </ul> <p>課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動技能の一連の動きを模造紙等に示し、どの運動局面に課題があるのか視覚的に把握しやすいようにする。</li> </ul> <p>他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童同士がお互いに動きを観察し、助言し合う場を設定する。また、設定した課題と現状の技能に大きなズレがある場合、教師が言葉かけをして、課題の設定を一緒に考えるようにする。</li> </ul>
----------------	---	--	--